

～宮大生のための海外渡航～

日本姉妹大学短期文化研修プログラム報告

教育文化学部 人間社会課程社会システム科1年（鈴木美晴）

○派遣: 韓国 嶺南大学校

○派遣期間: 平成23 年 9 月 18 日 ～ 平成23 年 9 月 26 日

○渡航時の学年: 1年次

○渡日前の手續について

・参加に至った経緯について:

私は4月から韓国語を勉強始めて、まだほとんど話せないけれど、韓国に興味があって今年の夏に行きたいと考えていました。

そしてこの短期文化留学なら、言葉があまり話せない自分でも行きやすいと考えて参加しました。

・渡航に関する手續について:

パスポートの期限が切れていたので更新しました。

また、海外保険にも加入しました。

・査証取得:

なし

★体験記:

わたしが今回、この短期プログラムに参加して1番思ったのはもっと自分は勉強するべきだということです。英語は中学から習ってきているけどちゃんと話せるわけでないし、韓国語も普通の授業をちゃんと聞いていたら、もっとコミュニケーションがとれたなあと感じたからです。そして私も留学したいと感じたのでこれから、もっと勉強したいと思います。

○生活費:

宮崎からは釜山行きの直便がないため、福岡空港から釜山空港まで飛行機で往復37000円位でした。

また、宿泊は大学のゲストハウスだったため宿泊費はいらなくて、食事代もだしていただきました。

○ホームステイ先の環境:

床暖房や暗証番号のオートロックなどとても設備が整っていました。

また、私の食べたかったサムギョプサル(焼肉)や冷麺を食べに連れて行っていただきました。

○大学のサポート状況:

USAと呼ばれる大学のボランティアスタッフがいて、中国語・英語・日本語担当がいて、日本語担当は2人しかいなかったけど、皆すごく親切にしてくださいました。

○授業の様子:

私は90分1コマの韓国語の授業を週に2回うけています。

○他の留学生たちの様子:

日本からは、30人くらいが北は北海道、南は宮崎と全国各地から来ていました。

～宮大生のための海外渡航～

韓国語の授業をとっていない人も結構いて、大学院や先生もいました。

○現地学生との交流:

日本語を専攻していないのに、自分で日本語を勉強していて、皆すごく普段から勉強しているのだなあと感じました。

○街の様子:

大学のまわりはたくさんのお店があって、夜は屋台に行ったり飲み屋街に行ったりどの店もすごく美味しかったです。また、大学から中心地までの無料バスがあったり交通の便は非常によかったです。

○その他:

○今後、海外渡航を希望する宮大生のみなさん

渡航する前に、現地の天候や気温を調べてから行くのがいいと思います。行ったときは9月だけどとても寒くて、長そでを現地で買っている人もいました。また、日本の電気機器を現地で使う為のコンセントの変換プラグが必要だと思います。

風邪をひいたときやおなかをこわした時のための薬を常備しておくといいと思います。



大学の文化博物館にて USA の方と

～宮大生のための海外渡航～



市場にて



チマチョゴリ体験